

取扱説明書

ディスポーザ対応浄化槽DSJ型 (5・7・10人槽)

流量調整型固液分離嫌気ろ床担体流動循環方式

- この度は、合併処理浄化槽DSJ型をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
- この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用してください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。
- ディスポーザの取り扱いに詳細に関しましてはディスポーザの取扱説明書をご覧ください。

目 次	
1. 安全のために必ずお守りください	1
2. 維持管理および法定検査について	3
3. フローシート	4
4. DSJ型浄化槽の特徴	4
5. ディスポーザご使用に関する注意事項	4
6. 浄化槽共通の注意事項	5
7. アフターサービスについて	7
8. 仕様表	8
9. 使用者の方へ(ディスポーザご使用に関する注意事項)	9
10. 保証書	10

ご使用になる方へ いつでも使用できるように大切に保管してください。



注意

本書に出てくる警告、注意表示の部分はもちろん、その他の部分も注意深くお読みになり、よく理解してください。

●初めに次のことをご確認ください。

1. 保証書に所定の記載事項が記載されていますか？
保証書はプロワの箱に入っています。記載されていない場合は、お買い上げの販売・施工会社にご連絡ください。
2. 浄化槽の申請手続きはお済みですか？
浄化槽を設置する場合、建築基準法および浄化槽法により、工事着工前に申請および設置の届け出が義務づけられています。必ず関係官公庁に所定の申請書を提出して許可を得てください。
3. 維持管理会社とのご契約はお済みですか？
浄化槽法により、浄化槽の維持管理（保守点検、清掃）を行うことが義務づけられていますので、専門知識と技術を持った専門業者に委託してください。詳しくは、お買い上げの販売・施工会社または弊社営業所にご相談ください。また、契約がお済みになりましたら、別添の維持管理要領書を維持管理会社の方にお渡しください。

1. 安全のために必ずお守りください

<シンボルマークの説明>

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

本書では、以下に示すシンボルマークを使っています。

	警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に使用者が 死亡または重傷 を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合に使用者が 傷害を負う危険および物的損害* の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

「注意」の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

1－1. 維持管理に関する注意事項（維持管理会社の方へ）

警告 1) 消毒剤による発火・爆発、有毒ガス事故防止

- 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の取扱説明書に従ってください。
- 消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の二種類があります。
これらを一緒に薬剤筒に入れないでください。
- 消毒剤の取り扱いに際しては、身体を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メガネ等の保護具を必ず着用してください。
- 消毒剤を破棄する場合は販売店などにお問い合わせください。ゴミ箱等に絶対に捨てないでください。
これらの注意を怠ると、発火・爆発・有毒ガスの生ずるおそれがあります。

警告 2) 作業中の酸欠などの事故防止

- 槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。また、槽内で作業するときは必ず強制換気をしてください。
これらの注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります。



警告

3) マンホール・点検口などからの転落・傷害事故防止

- 作業終了後、マンホール・点検口などの蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。荷重種別を確認ください。→P.4 参照
- マンホール・点検口などの蓋及びロックのひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに取り替えてください。
- 点検時にはマンホール枠内の異物（砂・小石など）を取り除いてください。
これらの注意を怠ると、転落事故（傷害）の生ずるおそれがあります。



警告

4) 感電・発火・巻き込まれ事故防止

- ブロワ・操作盤の近く（約50cm以内）には、ものを置かないでください。
- 電源コードの上には、ものを置かないでください。
これらの注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。
- ブロワ・タイマの点検後、外したカバーは必ず取り付けてください。

これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。

1－2. 一般的留意事項

留意

- 1) コンセントなどによる火災事故防止のため次のことを行ってください。

電源は防水型コンセントをご使用ください。また、電源プラグは、ほこりなどが付着していないか確認し、がたつきの有無についても確認してください。ほこりなどが付着したり、接続が不完全な場合には、漏電および感電や火災の生じるおそれがあります。

留意

- 2) 作業終了後、次の事項を確認してください。

- (1) マンホール・点検口などのフタの閉め忘れはないか。（ロックの確認も行ってください。）
- (2) ブロワ電源は入れたか。
- (3) ブロワの近く（約50cm以内）に物を置いていないか。

留意

- 3) マンホール・点検口の枠及び蓋が鋳物または鋼製の場合、定期的に錆を除去し塗装して下さい。

留意

- 4) 保守点検の技術上の基準、清掃の技術上の基準などの諸法令及び維持管理要領書を確実に守って維持管理を行って下さい。

留意

- 5) 浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないで下さい。これらを守らないと消毒剤から塩素ガスが発生し、金属類を腐食する恐れがあります。

1－3. その他の留意事項

留意

- 1) 使用開始時に次のことを確かめてください。

- (1) 浄化槽の設置工事が適正になされているか。マンホールが適正なものか。
マンホールタイプ（荷重種別）

500K	ガレージ用（総重量2トン以下）
1500K	3トン以下のトラック等用（総重量2～6トン）

- (2) 浄化槽の内部に正常な水位まで水が張ってあるか。
- (3) 散気装置から正常に空気が出るか。

(4) 消毒剤が薬剤筒に入っているか（袋に入っている場合は出してください）。

留意 2) 早期に立ち上げを行う為、必ずシーディングを行ってください。

留意 3) ブロワは本体損傷を防止する為に、定期的にエアフィルターを清掃または交換してください。ピストンまたはダイヤフラムについても定期的に交換する必要があります。

2. 維持管理および法定検査等について

2-1. 保守点検

保守点検とは「浄化槽の点検、調整又はこれらに伴う修理をする作業」をいい、浄化槽の作動状況、施設全体の運転状況、放流水の水質等を調べ異常や故障を早期に発見し予防的処置を講ずる作業です。保守点検は、環境省令で定める「保守点検の技術上の基準」および「窒素除去型小型合併処理浄化槽の維持管理ガイドライン」にしたがって行わなければなりません。（浄化槽法第8条、第10条）

項 目	時期および頻度
保 守 点 検	浄化槽の使用開始直前 開始後は、4ヵ月に1回以上

2-2. 清 掃

清掃とは「浄化槽内に生じた汚泥、スカム等を引き出し、その引き出し後の槽内の汚泥等の調整並びにこれらに伴う単位装置及び附属機器類の洗浄、清掃等を行う作業」をいい、浄化槽の使用に伴い必ず発生する汚泥、スカム等を槽外へ引き出し、槽及び機器等を清掃する作業で浄化槽の機能を長期にわたって維持するために不可欠な作業です。

清掃は、環境省令で定める「清掃の技術上の基準」および「窒素除去型小型合併処理浄化槽の維持管理ガイドライン」にしたがって行わなければなりません。（浄化槽法第9条、第10条）

項 目	時期および頻度
清 掃	1年に1回以上

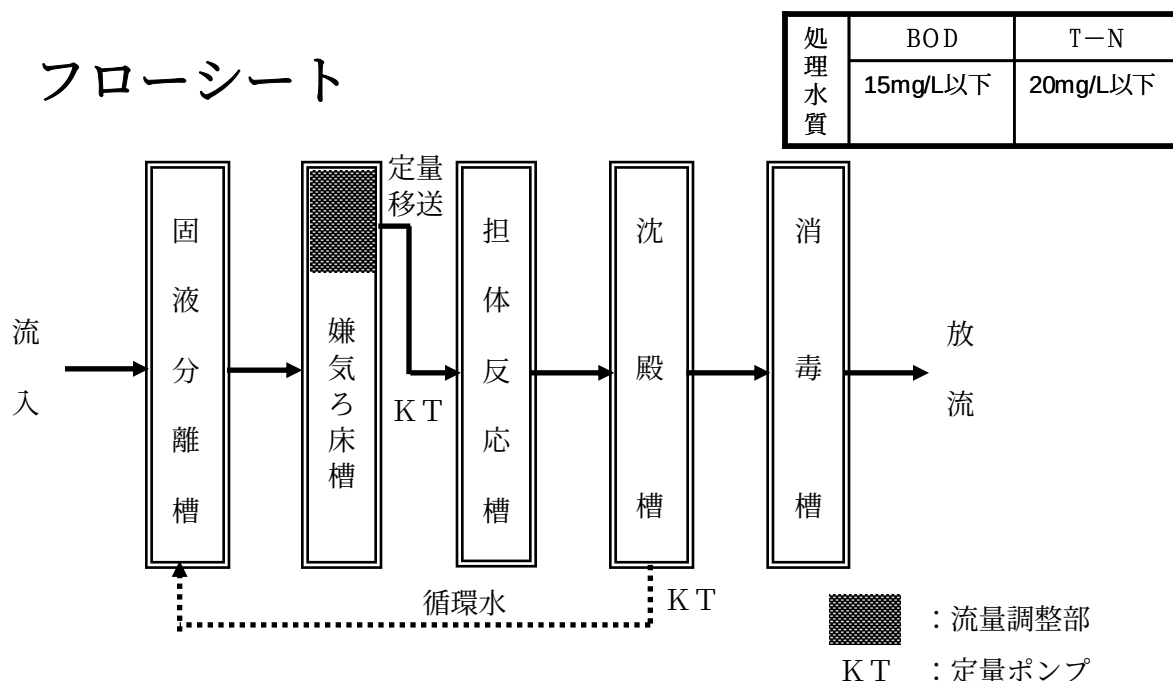
2-3. 法定検査

浄化槽は保守点検、清掃のほか、都道府県の指定する指定検査機関により、水質に関する検査を受けることが義務づけられており、第1回目の検査は通常「7条検査」といわれ使用開始後3ヵ月後から5ヵ月以内に行うことになっております。（浄化槽法第7条）

2回目以降の検査は通常「11条検査」といわれ、その後毎年1回行うことになっております。（浄化槽法第11条）

項 目	時期および頻度
法定検査	7条検査 浄化槽使用開始後3ヵ月から8ヵ月の間に実施
	11条検査 毎年1回 実施

3. フローシート



4. D S J 型浄化槽の特徴

1) 流量調整機能について

流量調整機能により流入水量変動を緩和し、処理機能が安定します。

2) ろ過部分が無く、逆洗が不要

ろ過が無くても安定した性能を発揮できるように、定量ポンプを採用した流量調整および循環機能、最適なる材と担体の選定を行い、タイマー機能無しの汎用ブロワ1台で対応できるようになりました。そのため、施工や維持管理が楽になりました。

5. ディスポーザーご使用に関する注意事項

5-1. ディスポーザーの取扱説明書を良くお読みください。

本書では一般的な注意事項を記載しています。ディスポーザーの機種により注意事項や使用方法に細かい部分で違いがありますので、ディスポーザーの取扱説明書を必ずお読みになり、使用方法をご理解してから使い始めてください。

5-2. ディスポーザーの使用時の注意事項

1) 生ごみ以外は流さないでください。

油などは従来と同様に流さないでください。配管が痛んだり、処理機能に重大な支障を起こします。また、金属類、ガラス類、陶磁器類、石や砂、薬品類は流さないでください。また、ディスポーザーの機種により異なりますが、大量のタマネギの皮などディスポーザーで処理しにくい物がありますので、これらの物はディスポーザーの取扱説明書に従って注意して処理してください。多量の生クリームや多量の餡(あん)、および多量のマヨネーズなども流さないでください。

2) 水の使い方について

水を長時間流したままにするような使い方は避けてください。また、ディスポーザー使用の際の水量は機種により異なりますので、ディスポーザーの取扱説明書をご確認ください。一般的には、8 L／分（小指くらいの太さ）の水を流します。

3) 塩素系の薬剤を使わないでください

ぬめり取りなどの塩素系の薬剤は、ステンレス腐食の原因となり、ディスポーザーの故障の原因となります。また、殺菌効果があるため、浄化槽内のバクテリアに悪影響を与え、水質悪化や臭気の原因となりますので、使用しないでください。

4) 流して良い物

流して良い物は、生ごみ（食品くず）です。野菜くず、果物くず、魚肉、中小の魚の骨、手羽元などの鳥の骨、海草類、肉類、卵、麺類、パン、茶殻などです。重量換算で一人1日あたり250g程度の物が投入できます。流しても良い物であっても、これを大幅に越える量の投入は避けてください。

5) 毎日処理をしてください。

発生した生ごみはその日の内に処理することを前提に設計されています。1週間分の生ごみを一度に処理するなどの使い方は、臭気や機能低下の原因となりますので、避けてください。

6. 浄化槽共通の注意事項

1) 洗濯時には洗剤は適量を使用してください。

所定量を越える余分な洗剤を使っても洗浄力に差は出ません。水を汚すだけでムダになります。また漂白剤も控えめに使用し、使用後は十分に水を流してください。

2) 天ぷら油などの油分は流さないでください。

台所から出る使用済みの油は、水に流さないで紙などに吸わせてゴミと一緒に出すようにしてください。鍋や皿の油汚れは紙で拭ってから洗ってください。

3) 紙おむつや衛生用品などは流さないでください。

紙おむつや衛生用品などは水に溶けません。流入配管や浄化槽の閉塞の生ずるおそれがあります。

4) ブロワの電源は切らないでください。

浄化槽内の微生物（バクテリア）は、常にブロワからの空気が必要です。旅行などで留守にする場合もブロワの電源は入れたままにしておいてください。

6) その他

- トイレtp紙は水に溶けやすい専用の紙を適度に使用してください。水に溶けにくいティッシュペーパーは使用しないでください。
 - 便器の洗浄には中性の洗剤を適度に使用し、塩素などの薬品を使用しないでください。
 - カビ落とし剤は適度に使用し、使用後は多めの水で流してください。多量に使用すると浄化槽内の微生物が死滅することがあるので注意してください。
 - 浄化槽の上に植木鉢や物干し台などの物を置かないようにしてください（保守点検、清掃が困難になります）。
 - 床用のワックスや、機械油などを多量に流し込まないでください。
 - 殺虫剤、洗剤、防臭剤、油脂類、紙おむつ、衛生用品等であって浄化槽の正常な機能を妨げるものは流入させないこと。
- これらの注意を怠ると、浄化槽の機能が正常に働かないおそれがあります。

7. アフターサービスについて

7-1. 保証期間と保証の範囲

1) 保証期間

- (1) 槽本体 : 使用開始日より3ヵ年
- (2) ブロワ : 使用開始日より1ヵ年

2) 保証の範囲

浄化槽法に基づく浄化槽工事業者によって適正に設置され、竣工検査を完了したものが、製造上の責任に依って構造・機能に支障があると認められるときは無償にて修理します。

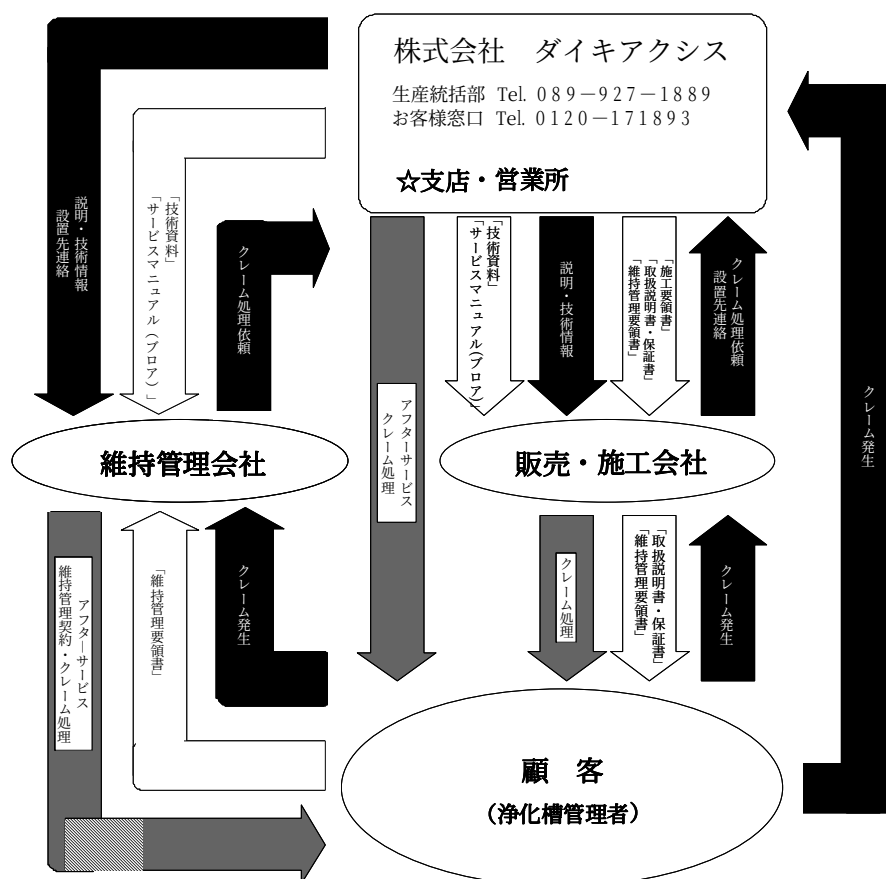
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

また、次の場合は保証期間中であっても有償といたします。

- (1) 消耗部品
(消毒剤、ブロワのダイアフラムやピストン・弁・エアフィルタなど)
- (2) 適切な維持管理契約がなされていない時
- (3) 適切な工事がなされていない時
- (4) 改造や不適切な修理による故障または損傷
- (5) 駆動部の取付場所の移動等による故障または損傷
- (6) 重車両の通行・振動による故障または破損
- (7) 火災、地震、水害、落雷、雪害その他の天災地変による故障または損傷
- (8) その他取扱いが不適当であった場合

7-2. サービス体制

ディスポーザーにつきましてはディスポーザーメーカーにご連絡ください。

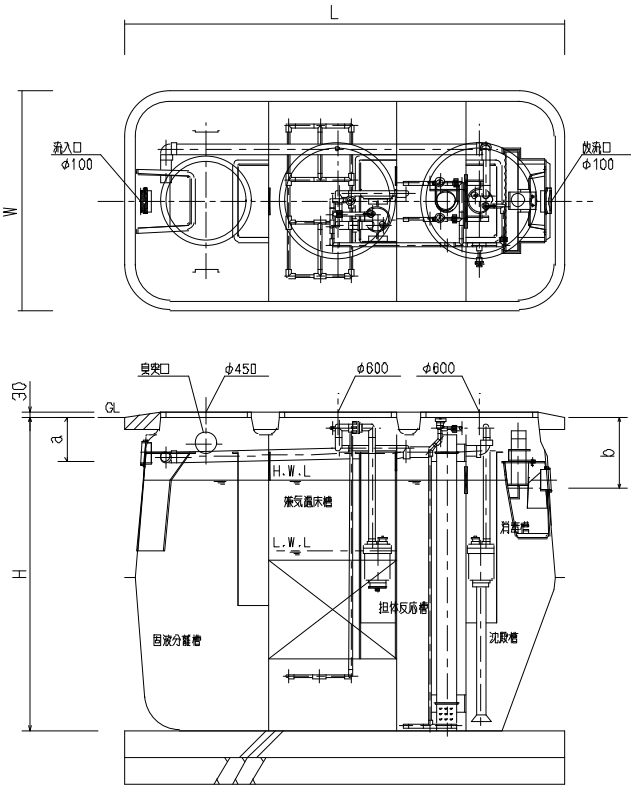


8. 仕様一覧 [本体・ブロワ]

仕様表

型 式		DSJ-5	DSJ-7	DSJ-10
処理対象人員(人)		5	7	10
寸 法	幅 W	1,230	1,230	1,450
	長 さ L	2,460	3,260	3,820
	高 さ H	1,750	1,750	1,900
流入管底 a		250		
放流管底 b		400		
流入、放流管径		φ 100		
有効容量	固液分離槽	1.029	1.447	2.127
	嫌気濾床槽	1.031	1.437	2.103
	担体反応槽	0.563	0.726	1.091
	沈 殿 槽	0.420	0.512	0.713
	消 毒 槽	0.024	0.024	0.024
	総 容 量	3.067	4.146	6.058
ブロワ	型 式	ダイヤフラム式、 電磁ピストン式		
	吐出風量(L/min)	60	80	120
	吐出口径(A)	13		

単位：寸法＝mm 容量＝m³



9. 使用者の方へ

ディスポーザご使用に関する注意事項

ディスポーザを使用される時は、以下の点を浄化槽の使用上の注意に加えてご注意ください。

1. ディスポーザの取扱説明書を良くお読みください。

本書では一般的な注意事項を記載しています。ディスポーザの機種により注意事項や使用方法に細かい部分で違いがありますので、ディスポーザの取扱説明書を必ずお読みになり、使用方法をご理解してから使い始めてください。

2. ディスポーザの使用時の注意事項

1) 生ごみ以外は流さないでください。

油などは従来と同様に流さないでください。配管が痛んだり、処理機能に重大な支障を起こします。また、金属類、ガラス類、陶磁器類、石や砂、薬品類は流さないでください。また、ディスポーザの機種により異なりますが、大量のタマネギの皮などディスポーザで処理しにくい物がありますので、これらの物はディスポーザの取扱説明書に従って注意して処理してください。多量の生クリームや多量の餡（あん）、および多量のマヨネーズなども流さないでください。

2) 水の使い方について

水を長時間流したままにするような使い方は避けてください。また、ディスポーザ使用の際の水量は機種により異なりますので、ディスポーザの取扱説明書をご確認ください。一般的には、8 L／分（小指くらいの太さ）の水を流します。

3) 塩素系の薬剤を使わないでください

ぬめり取りなどの塩素系の薬剤は、ステンレス腐食の原因となり、ディスポーザの故障の原因となります。また、殺菌効果があるため、浄化槽内のバクテリアに悪影響を与え、水質悪化や臭気の原因となりますので、使用しないでください。

4) 流して良い物

流して良い物は、生ごみ（食品くず）です。野菜くず、果物くず、魚肉、中小の魚の骨、手羽元などの鳥の骨、海草類、肉類、卵、麺類、パン、茶殻などです。重量換算で一人1日あたり250g程度の物が投入できます。流しても良い物であっても、これを大幅に越える量の投入は避けてください。

5) 毎日処理をしてください。

発生した生ごみはその日の内に処理することを前提に設計されています。1週間分の生ごみを一度に処理するなどの使い方は、臭気や機能低下の原因となりますので、避けてください。

ダイキ浄化槽保証書

- ① 本書は、本書記載内容（次項記載）に従って修理を行うことをお約束するものです。
- ② 使用開始日より保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売・施工業者または維持管理業者などに修理をご依頼ください。
- ③ 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

＊型式名	D S J 型	浄化槽製造番号：
		ブロワ製造番号：

保 証 期 間	対象部品	期間（使用開始日より）	駆動部はブロワ・ポンプなどの 設置設備類を含む
	槽本体	3 ヶ年	
	駆動部 内部部品	1 ヶ年	

但し、ダイヤフラム、オイル、消毒剤等の消耗部品は除く。

＊据 付 日	平成 年 月 日
＊使用開始日	平成 年 月 日
＊ 使 用 者 (設置者)	ご住所
	お名前
	電 話 ()

修理記録

年 月 日	内 容	業 者 名
・ ・		
・ ・		
・ ・		

＊施工業者 住 所
社 名
電 話 () ー ⑩
浄化槽設備士名
浄化槽設備士証 No. 第 号

＊印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

株式会社 ダイキ アクシス

本社/愛媛県松山市美沢一丁目9番1号 T E L (089) 927-2222

修理規程

1. 取扱説明書、取扱要領書、取扱ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へ出張を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. 保証期間内に、故障して修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売・施工業者または維持管理業者にご依頼ください。この浄化槽は出張修理いたしますので、その際には本書をご提示ください。
3. 保証期間内にご転居の場合には、保証書の書き換えがありますので事前に弊社までご連絡ください。
4. 本書に記入してある施工業者または維持管理業者等に修理をご依頼になられない場合には、お近くの弊社窓口へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りによる故障または損傷
 - (ロ) 適切な維持管理がなされていないとき
 - (ハ) 適切な工事がなされていないとき
 - (ニ) 改造や不適切な修理による故障または損傷
 - (ホ) 駆動部の取付場所の移動等による故障または損傷
 - (ヘ) 重量車両の通行・振動による故障または損傷
 - (ト) 火災、地震、水害、落雷、雪害その他の天災地変による故障または損傷
 - (チ) 本書の提示のない場合
6. 本書は日本国内に於いてのみ有効です。
7. その他のご注意事項
 - (イ) 浄化槽は「浄化槽法」により、使用者（設置者）は定期的に保守点検、清掃、水質検査を行うことを義務づけられております。これらの費用は保証期間内でも別途ご使用者（設置者）のご負担となります。
 - (ロ) この保証書は「機能」を保証するもので、「性能」を保証するものではありません。
 - (ハ) 本書に使用開始日または据付日、使用者（設置者）、施工業者の記入のない場合及び字句を書き替えられた場合は、この保証書は無効です。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理については、施工業者、維持管理業者または、お近くの弊社窓口にお問い合わせください。